

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	中野区立療育センターアボ口園 保育所等訪問支援事業			
○保護者評価実施期間	2024年12月17日 10:00 ～ 2025年01月31日 23:55			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	288	(回答者数)	67
○従業者評価実施期間	2025年1月7日 10:00 ～ 2025年01月13日 23:55			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月17日 10:00 ～ 2025年02月12日 23:55			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	88	(回答数)	40
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援を実施した際に、必ず保護者に対して共有がなされている。フィードバック時にご家庭の悩みや相談を受けて、それを児童発達支援事業に活かすことができていること。	情報の共有について、保護者・訪問先・療育担当者の三者でそれぞれ行い、利用者の発達支援に良い影響をだすことに注力しています。その際にご家庭の状況や訪問先の状況に合わせて、可能な限り配慮をし情報の共有をするようにしています。	より信頼関係を築き、保護者の意向と訪問先の困りごとや悩みをすり合わせて利用者の環境づくりをしていくようにします。
2	訪問支援員からの助言や説明が、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものになるように努力をしている点。専門的な視点から普段の利用者の姿を観察し、環境に働きかけができること。	訪問支援は保育所の経験があるものや専門的な知識を持ったものがおこなっております。また客観的な視点から集団活動に対してのアドバイスをおこなえるように、利用者の状況に合わせて環境への働きかけをしていくようにしています。	関わる全てのケースで良い影響を及ぼすことができるように訪問支援員のスキルアップをしています。具体的な支援の経験はもちろん、研修の機会を増やして利用者の利益につなげてまいります。
3	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行いどのような支援や環境調整が必要かを話し合っていること。	訪問先の先生方のご協力のもと、時間をおとりいただいてアセスメントの共有と話し合いをさせていただいています。その際にご家庭の状況や訪問先の状況に合わせて、可能な限り配慮をし情報の共有をするようにしています。	地域の訪問先との連携をより密に行うために信頼関係を築き、利用者が安心して相談できる環境を整えていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度から事業を引き継ぎ、体制が整うまで訪問を開始することができず遅くなったため、利用者や訪問先の困惑を招いてしまったこと。	今年度の事業の引き継ぎの際に急な退職があり、体制が整わなかったことが最大の要因です。こちらに関しては反省を必ず活かし、事業継続を念頭に地域の発達支援の基盤となれる体制づくりを急務として取り組んでまいりました。	次年度以降、新たな信頼関係を元に必要な支援が届き、それが継続されるように安定した体制をつくっていきます。必要な家庭に必要な支援が届くような仕組みづくりを進めてまいります。
2	訪問支援員の経験不足・地域に対する理解や関わりの継続的な支援の実施が未だできていないこと。	新規入職者が多く、中野区での訪問支援についての経験が不十分だったことが要因の一つであると認識しております。今後も訪問支援員は研鑽を続け、より利用者や訪問先の利益につながるように地域への理解や各状況への理解を丁寧に進めていく必要があります。	関わる全てのケースで良い影響を及ぼすことができるように訪問支援員のスキルアップをしています。具体的な支援の経験はもちろん、研修の機会を増やして利用者の利益につなげてまいります。ケースごとの振り返りも各担当者で行い、課題となる部分の改善に取り組みます。
3	訪問先からのご要望に対して訪問の頻度が十分確保できていない。訪問先への十分な制度の説明ができていないことが課題。	主な課題の要因としては、契約者数が多く機会を均等にしていけなくどうしても当事業者の総訪問数が多くなってしまうことにあると認識しております。地域の民間事業者とも協力をしながら利用者の需要に応じていく必要があります。訪問先の方の中には巡回指導と混同されている方がいらっしゃるので制度についてしっかりと説明していきます。	信頼関係を構築し、より児童やご家庭、保育所の皆様への支援を強化できるように効率化についても検討します。訪問の頻度に関しては回数を増やしていく方向で計画を進めておりますが、中野区では訪問のご要望が多いため、訪問時の質を担保したまま機会を増やせるように職員の研修を実施し、利用者や保育所等の職員の皆様にとって有意義な支援となるように研鑽を重ねてまいります。